

私たちの活動や意見を仲間
で共有します。
会費は県と日本平和委員会
の活動も支えます。

土浦平和の会ニュース

2021年10月15日 第356号

発行：土浦平和の会

事務局：土浦市烏山2-530-296

HP：//tutiuraheiva.web.fc2.com/

総選挙で岸田政権退場の審判を



平和を創り出す政権へ

国会討論 安倍・菅政権の継承鮮明に

日本の進路を大きく決定づける
歴史的選挙戦が激しくたたかわれ
ています。

総裁選までは多少は安倍政権と
の違いをかもし出していた岸田首
相は、政権にありついた途端に、
金縛りにでもあったように前言を
ひるがえし、安倍・菅政治の完全
コピーに変身(いや、本性暴露
か?)。「自分は人の話をよく聞く
のが得意」と自慢したものの、早
速“聞くだけ将軍”“聞くけどや
らない”の批判にさらされる始末
です。

市民と野党の共同のうれしい前



市民連合のメンバーと政策合意を交わした4野党党首ら
= 8日、参院議員会館

怒 次々と戦争準備 押しとどめるのは今だ

2013年 特定秘密保護法

2015年 安保法制=戦争法

2017年 共謀罪法

2021年 改憲国民投票法

そして今度は

土地利用規制法

この法律のねらいは、「安全
保障」を口実に私権制限と
運動抑圧

(土浦平和の会はこの問題の取組を強化します)

2021年6月、
成立が強行され
た。誰が監視
対象か?何で
罰せられるの
か?全ては政
府が決める

進が実を結ぶかどうか、期待が高
まります。野党4党の共通政策は、
平和の分野でも素晴らしい内容
(別掲)です。

勝敗のカギは最大多数の「支持
無し層」の支持を野党の側に引き
寄せられるかどうかです。私たち
平和運動の側からも、積極的な支
持拡大行動に打って出しましょう。



「核兵器禁止条約」
2017年7月 国連で採択(上写真)
2021年1月 発効、現在56カ国が批准

外交・安全保障・環境・原発 政策比較

| 野党4党の共通政策 | 政府の対応 |
|--|---|
| <p>安保法制、特定秘密保護法、共謀罪法などの法律の違憲部分を廃止し、コロナ禍に乗じた憲法改悪に反対する</p> | <p>集団的自衛権の行使容認も含めた安保法制を制定。台湾有事での集団的自衛権行使も(麻生副総理発言)。自民党は改憲を目標に掲げる。</p> |
| <p>平和憲法の精神に基づき、総合的な安全保障の手段を迫り、アジアにおける平和の創出のためにあらゆる外交努力を行う。</p> | <p>中国や北朝鮮の「脅威」を理由に、日米軍事同盟を強化。空母の保有や中国・北朝鮮を敵基地攻撃できる長射程のミサイルの開発を決定。</p> |
| <p>核兵器禁止条約の批准をめざし、まずは締約国会議へのオブザーバー参加に向け努力する。</p> | <p>米国の「核の傘」にしがみつき、核兵器禁止条約の署名を拒否。4月の日米首脳会談で核抑止態勢の強化で合意。</p> |
| <p>地元合意もなく、環境を破壊する沖縄辺野古での新基地建設を中止。</p> | <p>辺野古への新基地建設を「唯一の解決策」として埋め立て工事を強行。</p> |
| <p>再生可能エネルギーの拡充により、石炭火力から脱却し、原発のない脱炭素社会を追究</p> | <p>脱炭素社会の実現には二酸化炭素を排出しない原発が不可欠として、再稼働を推進</p> |



写真は今年7月の街頭アピール(新婦人など)

ドキュメンタリー映画 「はりぼて」 虚飾を剥がせ! この映画こそ日本の縮図だ

保守王国富山県の小テレビ局、真実を伝えた記者たち

「政務活動費を巡る調査報道」により
日本記者クラブ賞特別賞、
ギャラクシー賞報道活動部門大賞、
菊池寛賞を総ざらい

と き：11月19日(金)

①午後2時～、②午後7時～(上映時間100分)

ところ：つくばカピオホール

前売券1,100円(当日1,400円)

主催・問い合わせ：茨城映画センター/029-226-3156
上映協力：シネ・フォーラム土浦 他

本号より新シリーズ

「父のこと」「母のこと」「父母のこと」

本号より、皆様のご両親の歴史や生き様、エピソードを紹介していきます。中心テーマは「父のこと」「母のこと」「父母のこと」です。内容はあらずと戦中・戦後のことに集中しがちになると思いますが、戦争と平和にこだわらず、楽しい思い出、破天荒な話も大歓迎。

第1回は岡田代表理事に口火を切っていただきました。

寄稿ををお待ちしています。

原稿は900字をめぐり、最大でも1,000字程度でお願いします。



私の父は1901年に東京都牛込区(現新宿区)の牧場で生まれた。16歳で三越百貨店に入店した。23歳で働きながら夜間の東京商業学校を卒業する。1923年9月の関東大震災に遭遇し、賀川豊彦牧師の礼拝に出席、一生をクリスチャンとしてささげることとなる。29歳で中央大学夜間を卒業。母と結婚し、姉、長兄が生まれる。世の中は、1933年の作家小林多喜二の特高による虐殺など専制政治が吹き荒れていた。35年に三越札幌支店庶務部長として転勤する。そこで次兄、三兄、そして私が四男として生まれた。札幌時代は温泉、スキーなど豊かな生活を満喫し

た。1937年に支那事変。1941年に三越京城(けいじょう：今

の韓国ソウル)支店支店長付書記長に命じられ、一家7人は東京経由、朝鮮の京城の寮に引っ越した。その年12月8日、日本は太平洋戦争へ突入。当時、朝鮮半島は韓国併合条約(1910年)によって日本の植民地支配下にあった。朝鮮人はハングル語の使用を禁止され、同化政策で日本人の家で家政婦として働いたりしていた。姉、兄達は日本人学校で学んだ。43年、妹が生まれた。その時、三越東京本店勤務の辞令を受け、家財の一部を残し、一家8人はみぞれ混じりの対馬海峡を大砲装備の連絡船で渡って、12月25日東京に帰ってきた。父の胸には日本の敗戦を予測し、これ以上帰還

が遅くなったら残留邦人になる恐れを感じていたに違いない。1944年3月調査課主任として辞表を提出して、27年間の三越勤務に終止符を打った。同月山下汽船(現「商船三井」)入社。世田谷奥沢、豊島区西巢鴨へと転居、3人の男こどもは千葉県九十九里浜長谷に疎開。1945年3月本所(現墨田区)方面東京大空襲、そしてついに4月の大空襲で西巢鴨の家、家財ともに焼かれる。豊島区椎名町に避難、代々木富ヶ谷町に落ち着く。5月25日の空襲で再び富ヶ谷の家が焼かれる。残りの家族も長谷に疎開。父は東京大崎の寮より通勤し、週末に

あの戦争を生き抜いた父と母

岡田 安正(土浦平和の会代表理事)

は家族の見舞いと食料物資を届けに自転車で片道100kmの道をやって来た。8月15日、終戦。山下汽船は財閥解体、休職となる。46年、賀川豊彦の協同組合に就職。諏訪町(現新宿区高田馬場)の親戚の家に引っ越す。家族全員8人が無事で戦争を生き抜いた。姉、長兄も復学し私も46年に小学校に入学した。戦中戦後の疲労と、栄養失調にさいなまれた父は長く病床に臥せ、1949年1月咽喉結核で死去した。47歳であった。引き続く戦後の一家の生活はすさまじい限りの貧乏生活だった。兄弟たちは、みな夜学に通って働いて生活を支えた。母はそういう子供たちや、親戚に支えられて97歳まで生きた。



【平和の会へのおさそいを。「平和新聞」購読も広げましょう】

- 幅広い年代からの加入を勧めましょう。ご家族・ご近所・友人・知人などにお声かけを
- 会費：月額500円、「平和新聞」(毎月5、15、25日発行)：月額593円(送料含)

